

第 11 回「次世代の太陽光発電システム」シンポジウムのお知らせ

－ 太陽の国から未来を拓く太陽エネルギーを！ －

太陽光発電は、その優れた環境性能にも拘らず、日照時間や天候に左右される電源としての不安定性から、補助的電源としての使用以上の期待への疑問が語られています。しかし、今後長期にわたる電力源を考えれば、原子力発電も含め、地球内資源を用いる全ての発電系は、その原料の枯渇に見舞われ、太陽光発電を中心とする再生可能エネルギーを用いた発電に、全ての人類は頼らざるを得なくなります。

また一方、太陽電池の世界生産量 70%近くを中国・台湾企業に握られ、日本の太陽電池製造企業の意気も沈みがちです。しかし、この様な時であるからこそ、太陽光発電が、人類の歴史の中で今後果たさなければならない未来への責務を深く自覚し、単なる企業間競争、国際競争のためだけではない、もっと本質的な研究開発に邁進する必要があります。また、その自覚にもとづき未来の課題に挑戦する研究開発こそが、日本企業に、ここ何年かの国際競争の結果に起因する後ろ向きの思考から抜け出させ、近未来に、再び世界の王者として復活する可能性を与えるものであります。

今回、未来のエネルギーを背負う可能性を持つ太陽光発電の研究開発事例を集め、我が国有数の日照条件を有する宮崎を開催地とし、「太陽の国から未来を拓く太陽エネルギーを！」と題し、本シンポジウムを企画いたしました。主催団体の会員はもとより、会員以外の方も自由に投稿、参加できますので、お問い合わせの上、ご参加下さいようお願い申し上げます。

主催 日本学術振興会 産学協力研究委員会 第 175 委員会 (<http://solid.pe.titech.ac.jp/~gakushin>)
後援 宮崎大学
協力 公益財団法人みやざき観光コンベンション協会
協賛 応用物理学会 多元系化合物・太陽電池研究会
会期 平成 26 年 7 月 3 日(木)、4 日(金)の 2 日間
場所 宮崎観光ホテル (<http://www.miyakan-h.com/>)
住所: 宮崎県宮崎市松山 1-1-1 電話: 0985-27-1212
●宮崎空港より自動車ですら 15 分

シンポジウム参加費	第 175 委員会登録委員 (登録委員は 1 名です)	学生	その他・一般
Early bird registration (平成 26 年 6 月 20 日まで)	7,000 円	2,000 円	12,000 円
General & On-site registration (平成 26 年 6 月 21 日以降)	10,000 円	5,000 円	15,000 円

※意見交換会参加費は別途 3,000 円

シンポジウムの内容

- (1) 結晶 Si、薄膜 Si、化合物薄膜、超高効率・集光形、色素増感・有機薄膜、第 3 世代等の各種太陽電池
- (2) 太陽電池の製造技術・モジュール技術、評価技術、リサイクル技術、測定法、信頼性など
- (3) 太陽光発電システム(系統連系技術、フィールド試験、大規模発電、宇宙応用)および蓄電システムなど
- (4) 国や地方自治体のエネルギー政策、民間企業も含めた太陽光発電システム導入計画、および、NEDO、JST プロジェクト関連
- (5) 基礎講座

*招待講演の他にも、広く一般講演(口頭発表とポスター発表)を募集しております。

※講演申込、参加登録は Web 登録になりました。アドレスは、<http://solid.pe.titech.ac.jp/registration.html> です。

講演申込手続き

講演希望者は、上記 URL にて発表題目、発表者名(連名)、連絡先住所、電話番号、FAX 番号、電子メールアドレス、講演概要(200字程度)を記入し、ご送信下さい。

講演申込の締切りは、平成 26 年 5 月 10 日(土)です。

ダイジェスト原稿の提出

提出された論文概要をもとにプログラムを作成し、申込者にお知らせ致します。講演者には、当日配布用のダイジェスト原稿(A4、2ページ以内)の作成をお願いいたします。シンポジウム事務局まで電子メールにて送付下さい。

ダイジェスト原稿の締切りは、平成 26 年 6 月 2 日(月)です。

参加登録

講演申込と参加登録は、別になっております。シンポジウムに参加を希望される方は、必ず氏名、所属、住所、電話番号、FAX 番号、電子メールアドレス、意見交換会参加の有無を Web にてご登録下さい。

参加登録および参加費振込の締切りは、平成 26 年 6 月 20 日(金)です。

実行委員会

委員長：吉野賢二(宮崎大学)

副委員長：櫛屋勝巳(ソーラーフロンティア)

プログラム委員長：西岡賢祐(宮崎大学)

プログラム副委員長：山本憲治(カネカ)

プログラム委員：伊藤貴司(岐阜大)、植田譲(東京工業大学)、宇佐美德隆(名古屋大学)、
大下祥雄(豊田工業大学)、大関崇(産総研)、大東威司(資源総合システム)、
黒川康良(東京工業大学)、小長井誠(東京工業大学)、近藤道雄(産総研)、
坂井裕一(三菱電機)、瀬川浩司(東京大学)、高本達也(シャープ)、竹内良昭(三菱重工業)、
田中誠(パナソニック)、仁木栄(産総研)、野々村修一(岐阜大学)、早瀬修二(九州工業大学)、
冬木隆(奈良先端科学技術大学院大学)、増田淳(産総研)、松井卓也(産総研)、
宮島晋介(東京工業大学)、山口真史(豊田工業大学)、山田明(東京工業大学)、
山谷宗義(京セラ)、吉川暹(京都大学)、和田隆博(龍谷大学)

会場 係：西岡賢祐(宮崎大学)、鈴木秀俊(宮崎大学)、福山敦彦(宮崎大学)

事務局

〒152-8552 東京都目黒区大岡山 2-12-1 NE-15

東京工業大学 大学院理工学研究科 電子物理工学専攻 小長井誠研究室秘書

古川 公子(庶務担当幹事)

電話:03-5734-2554、FAX:03-5734-2897、E-mail: furukawa.k.aa@m.titech.ac.jp

参加費・意見交換会費振込先

みずほ銀行 大岡山支店 普通預金

店番号 145、口座番号 2084534

にほんがくじゅつしんこうかいだい175いいんかいだいひょうこながいまこと
日本学術振興会第175委員会代表小長井誠

日本学術振興会 産学協力研究委員会 第 175 委員会 運営委員会

委員長：小長井誠(東京工業大学)

副委員長：山口真史(豊田工業大学)、近藤道雄(産総研)、田中 誠(パナソニック)

幹事：伊藤貴司(岐阜大学)、植田譲(東京工業大学)、黒川康良(東京工業大学)、松井卓也(産総研)、
宮島晋介(東京工業大学)、

運営委員：宇佐美德隆(名古屋大学)、大下祥雄(豊田工業大学)、大関崇(産総研)、
大東威司(資源総合システム)、櫛屋勝巳(ソーラーフロンティア)、坂井裕一(三菱電機)、
瀬川浩司(東京大学)、高本達也(シャープ)、竹内良昭(三菱重工業)、仁木栄(産総研)、
野々村修一(岐阜大学)、早瀬修二(九州工業大学)、冬木隆(奈良先端科学技術大学院大学)、
増田淳(産総研)、山田明(東京工業大学)、山本憲治(カネカ)、山谷宗義(京セラ)、
吉川暹(京都大学)、和田隆博(龍谷大学)

ホテル案内

会場の宮崎観光ホテルは、宿泊も可能ですし、周辺にも多くのホテルがあります。インターネットあるいは旅行業者を通じて、個別にお早めにご予約ください。

イノベティブPV賞(論文賞)ならびに奨励賞

第175委員会ではシンポジウムで発表された講演の中から優秀な論文を選び、イノベティブPV賞ならびにイノベティブPV奨励賞を授与します。「奨励賞」は発表者が35歳以下(発表時点)の方を対象としますので、該当のご講演者は、講演申し込み時にその旨、明記願います。